

第四次長野市災害時備蓄品等整備計画 (2023年～2027年)

(案)

令和5年1月
長 野 市

目 次

第1章 基本方針等

1 はじめに.....	4
2 備蓄品整備の基本方針.....	5
3 計画の期間・備蓄の区分等.....	6
(1) 期 間.....	6
(2) 被害想定.....	6
(3) 避難者の構成.....	7
(4) 防災備蓄の区分.....	7

第2章 公的備蓄

1 公的備蓄.....	9
(1) 食 料.....	9
(2) 飲 料 水.....	10
(3) 避難所開設備品.....	11
(4) 避難所運営資機材.....	12
(5) 生活必需品・日常生活用品.....	13
(6) 救助・水防等資機材.....	14
(7) 応急救護所運営資機材.....	14
(8) 感染症対策物品.....	15
(9) その他.....	15

第3章 家庭内備蓄等

1 家庭内備蓄.....	16
(1) 食 料.....	16
(2) 生活関連用品.....	17
2 事業所備蓄.....	18
3 流通備蓄.....	18
4 協定等に基づく物資調達.....	19

第4章 防災備蓄倉庫等

1 防災備蓄倉庫等の現状.....	21
(1) 防災備蓄倉庫等の種類.....	21
(2) 設置状況.....	21
(3) 拠点倉庫の現状.....	21
(4) 拠点倉庫の配置状況.....	22
(5) 拠点倉庫の概要.....	22
2 防災備蓄倉庫等の配置と今後の方向性.....	23
(1) 拠点倉庫の配置の考え方.....	23

(2) 拠点倉庫の適正規模について	23
(3) 次期計画で実施を目指す、拠点倉庫整備について検討の方向性.....	23
(4) コンテナ型防災備蓄倉庫等の配置の考え方	23
(5) コンテナ型防災備蓄倉庫の整備の方針.....	23
3 第四次備蓄品等整備計画期間中の拠点倉庫整備方針	24
< 資料編 >	25
I 倉庫等配置状況	26
II 防災備蓄倉庫等備蓄状況	27
☞ 防災備蓄倉庫.....	27
☞ 防災拠点倉庫.....	29
☞ 中山間地用備蓄	30
☞ 孤立対策用備蓄	31
III 災害時相互応援協定等の状況.....	32

第1章 基本方針等

1 はじめに

平成23年3月11日の東日本大震災や平成28年4月の熊本地震などの大規模災害発生直後は、物流機能が混乱し被災地外からの支援が一時的に停止し、備蓄物資や支援物資の運搬や帰宅困難者への対応など、様々な課題が浮き彫りになったと言われている。

一方、災害時に必要となる食料、日常生活用品、避難所用物資、緊急資機材等については、少子・高齢社会への対応や避難者からの様々なニーズに応えるため、これまで以上の柔軟な対応と関係機関との連携を含めた対応が必要となっている。

こうした中で、本市に大きな被害をもたらした令和元年東日本台風災害では、発災直後から備蓄物資の提供に加えて、支援物資の輸送拠点を設置し、国、県及び応援市町村等からのプッシュ型支援による物資を受け入れるとともに、避難者のニーズに応じた物資支援、食料支援を行ったが、様々な課題も見出されることとなった。

また、第五次長野市総合計画推進のためのアンケート調査によると、「災害に備えて食料や飲料水を備蓄しているか」の問いに対し、「当てはまる」又は「やや当てはまる」の回答が、平成29年度調査では37.2%だったのに対し、令和2年度の調査では51.2%と大幅に増加しており、市民意識も大きな変化が見られる。

全国的に頻発化・激甚化する近年の災害と、令和元年東日本台風災害の被災経験が影響しているものと考えられる。

長野市では、これまでも災害発生時に備えた備蓄品として、食料、飲料、日用品をはじめ、避難所運営用資機材等の公的備蓄を整備するとともに、市民には最低でも3日分、可能であれば1週間分の家庭内備蓄を呼びかけてきた。市民意識の変化を好機ととらえ、より一層の呼びかけを行っていく必要がある。

これらの状況を踏まえて、本計画に基づき、市民、地域、事業者等における自主的な備蓄を促進するとともに、本市における公的備蓄や連携協定等に基づく流通備蓄の充実を図るため、基本的な取り組み方針を明確にし、計画的な公的備蓄を推進することにより、本市の防災力向上に努めていく。

2 備蓄品整備の基本方針

本計画においては、大規模災害発生後の3日間（72時間）にわたり物流機能が停止し、国、県をはじめ応援自治体からの支援物資が届かないことを想定する中で、家庭内備蓄や自主防災組織等による地域内備蓄を促進し「自分の命は自分で守る」「地域の安全は地域が守る」という自助・互助・共助による取組みを支援する。

また、市が行う公的備蓄については、自助・互助・共助により賄われる食料や日常生活用品などの備蓄品を補完するとともに、住宅等の全壊・半壊などにより備蓄品の持出が困難な住民や旅行者など帰宅困難者といった避難所において支援が必要な被災者を対象とした備蓄を行い、発電機、浄水器、簡易トイレなど、個人や地域では賄いきれない資機材についても計画的に整備を進める。

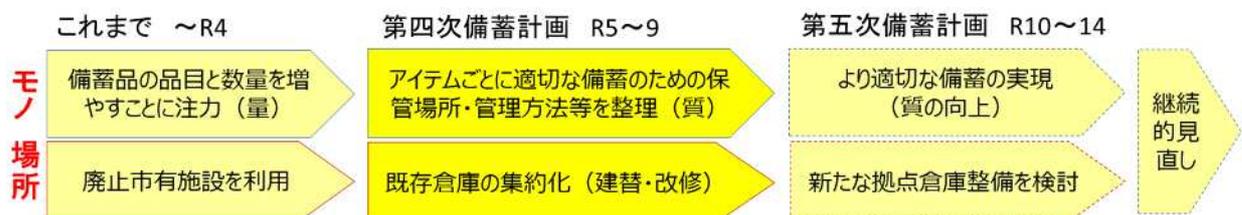
このほか、保存期限が短期なものや衛生的な保管が必要なものなど、防災備蓄倉庫等における長期の保管が相応しくない物品については、今後、事業所や流通業界との災害時連携協定を締結し、流通備蓄による調達を図る。

事業者等に対しては、従業員等が帰宅できない場合や事業所内に留まることが安全な場合に備え、3日分の食料や飲料水の備蓄について協力を求める。なお、集客施設にあっては、来場者の滞留についても配慮を求める。

【第四次長野市災害時備蓄品等整備計画策定にあたっての考え方】

これまでの第三次備蓄品等整備計画が令和4年度に終了することに伴い、現在の備蓄状況を検証し、地域防災計画の見直しのために実施した、新たな防災アセスメント結果を基に、今後の備蓄目標数・内容・拠点となる備蓄倉庫のあり方等について、新たな5カ年計画を定める。

備蓄品の適正管理、保管状況の改善、発災時の搬出入の円滑化など、現状の課題改善することで、より備蓄品を災害時に活かせるよう計画の見直しを行う。



また、これまで以上に家庭内備蓄、事業所備蓄に対する協力の呼びかけを行うとともに、災害時応援協定先を増やす取組みを推進する。

なお、適正な在庫管理実現のためのシステム等の導入や、効率的な備蓄に寄与する国・県・他自治体との連携等について、今後の課題として調査・研究を行う。

3 計画の期間・備蓄の区分等

(1) 期 間

この計画は、令和5年度から令和9年度までの5箇年における災害時備蓄品等の整備に係る基本の方針とする。

ただし、画期的な災害備蓄品の開発や長野市地域防災計画の改定や新たな被害想定等が生じた場合等は、適宜、柔軟な修正・変更を加えるものとする。

(2) 被害想定

長野市地域防災計画に掲げた長野盆地西縁断層帯の地震¹を本計画の被害想定とする。

＜地震による被害量(冬の18時発生の場合)＞

想定項目		長野盆地西縁断層帯の地震		糸魚川－静岡構造線断層帯の地震		
		被害率		被害数		
人的被害	死者	1,444人	0.4%	625人	0.2%	
	負傷者	8,444人	2.3%	3,425人	0.9%	
	重傷者	4,308人	1.2%	1,812人	0.5%	
	自力脱出困難者	4,306人	1.2%	795人	0.2%	
生活支障等	避難者	1日後	53,016人	14.2%	13,572人	3.6%
		2日後	117,517人	31.6%	45,559人	12.2%
		1週間後	99,229人	26.7%	31,815人	8.6%
		1ヶ月後	93,725人	25.2%	24,306人	6.5%
	災害廃棄物		3,851,400t	-	1,710,108t	-
	孤立集落		258集落	-	249集落	-
建物被害	全壊棟数		23,752棟	11.1%	10,864棟	5.1%
	半壊棟数		28,016棟		12,867棟	
	焼失棟数		5,189棟		1,7500棟	
ライフライン・交通施設障害	上水道	断水人口	362,822人	98.2%	300,623人	81.4%
	下水道	機能支障人口	339,562人	96.9%	283,259人	80.8%
	都市ガス	被災直後供給停止戸数	50,309戸	100.0%	0戸	0.0%
	電力	被災直後供給停止棟数	247,739棟	92.5%	192,061回線	71.7%
	固定電話	被災直後不通回線数 (停電の影響100%)	201,961回線	92.6%	156,565回線	71.7%
	緊急輸送路	被災箇所数	31箇所		32	
	鉄道施設	被災箇所数	129箇所		85	

¹ 震災編（震-16頁）

(3) 避難者の構成

備蓄品等の整備に当たっては、避難者の年齢（年代）、性別等により対応すべき備蓄品が異なる。このため、本計画においては、住民基本台帳（R3.4.1）の年齢別男女別人口を基に避難者の構成を設定する。

<避難者の構成>

年齢区分	人数(R3.4.1 時点)	構成比	避難者に占める人数
長野市総数	372,080 人	100.0%	
避難者数	53,016 人	14.2%	
0歳	2,402 人	0.6%	342 人
1～2歳	5,229 人	1.4%	745 人
7～15歳	29,480 人	7.9%	4,200 人
3～84歳	342,007 人	91.9%	48,731 人
85歳以上	22,442 人	6.0%	3,198 人
10～54歳の女性	91,363 人	24.6%	13,018 人

(4) 防災備蓄の区分

本計画では、次の区分により防災備蓄品を整備する。

(ア) 公的備蓄

大規模災害の発生に伴う家屋の倒壊や損壊等により、短時間に多数の避難者が発生した場合を想定し、食料、飲料、日用品など、避難所において必要となる物資や資機材を計画的に整備するもの。

(イ) 家庭内備蓄

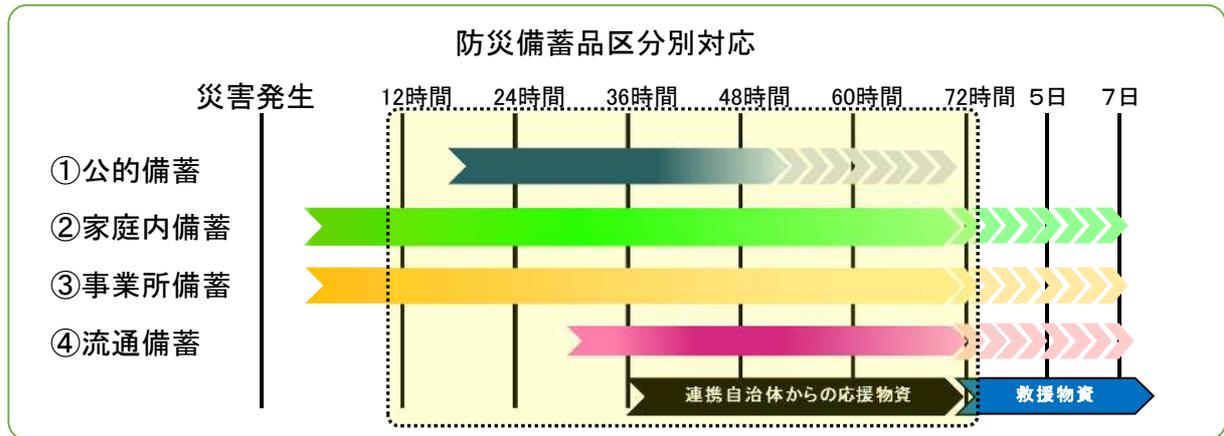
各家庭が災害により流通物資の供給が途絶えた場合に備え、食料、飲料、日用品、医薬品など、家族が生き残るために必要な物資を備蓄するもの。

(ウ) 事業所備蓄

災害発生時には勤務先等からの帰宅が困難な場合や事業所内に留まることが安全な場合もあることから、従業員用の食料、飲料、日用品等を備蓄する。また、集客施設等を有する事業所にあつては、来場者の滞留を想定した備蓄を進めるもの。

(エ) 流通備蓄

事業所や団体と市が予め災害時相互応援協定等を締結し、災害時に必要となる物資を調達する。保存期限等が短いものや衛生的な管理を要するものについては、今後、流通備蓄を積極的に活用するもの。



【本計画における公的備蓄品目の内容と目標数設定の考え方】

- ① 従前計画の目標を充足している品目については、目標数を確保しつつ、より高品質で扱い易いものに順次比重を移していく。
- ② まだ目標を充足していない品目については、国からのプッシュ型支援や、災害時応援協定先からの調達等を見込んだ上で、目標数を設定する。
- ③ 新たな分類として、新型コロナウイルス感染症対策等に必要な「感染症対策物品」を設ける。

第2章 公的備蓄

1 公的備蓄

(1) 食料

ア 備蓄目標

長野市地域防災計画（R4 改訂版）では、食料品等調達供給活動のうち、初動期の対応²については、「災害発生から3日間は、市民の非常持出食料、市の備蓄食料、災害時食料供給事業者等からの食料で必要な食料を賄う」としている。

このうち、市の食料品等の備蓄調達計画³については、「地震発生1日後に想定する避難者数（長野盆地西縁断層帯の地震想定約53,000人）の2食分の食料備蓄」とし、106,000食の備蓄としている。

一方、国の「災害応急対策の種類に応じた需要数量、供給数量の算出の考え方⁴」では、食糧（主食）の需要量を避難所生活者の1.2倍としていることや、多くの中山間地を抱える本市では、道路、橋梁の通行止めなどに伴う孤立集落の発生が懸念され、分散備蓄等の充実を図る必要があることなどから、本計画における食料等の公的備蓄の目標は、想定する避難者数の3食分の食料備蓄を目標とする。

・ 備蓄食料品（公的備蓄）目標＝53,000人×3食分＝159,000食

イ 品目別整備目標

食料については、これまで25年間の長期保存可能なサバイバルフーズを中心に備蓄を進め、防災備蓄倉庫、中山間地用備蓄場所、福祉避難所等に配備を進めてきた結果、現状においては、3歳～84歳の避難者の100%をこのサバイバルフーズで賄ったとしても供給量には余裕がある。

このサバイバルフーズは、安定的な食料備蓄という点では優れているが、喫食に当たっては補水と加熱を行う必要があることに加え、使用後の食器や機器の洗浄が必要になるほか、食物アレルギーの対策が施されていないなどの課題もある。

このため、今後は、全国の公的備蓄用食料の主流であり、特定原材料等28品目を使用せず5年間以上保存可能なアルファ化米及びレトルト食料をサバイバルフーズに代えて順次整備するものとする。

なお、日本小児アレルギー学会の提案では、アレルギー対応食の備蓄目安として、総備蓄食料の25%以上⁵としてしていることから、アルファ化米及びレトルト食料の備蓄量を総量の25%を上回るよう5年計画で整備を進める。

また、これとは別に1～2歳と85歳以上については全ての避難者にお粥のレトルト食料を3食分について支給できるよう、5年計画で整備を進める。

² 震災編（震-147頁）

³ 震災編（震-46頁）

⁴ 総務省消防庁「東海地震に係る広域的な地震防災体制のあり方に関する調査検討報告書」

⁵ 大規模災害対策におけるアレルギー用食品の備蓄に関する提案について（平成30年12月 日本小児アレルギー学会）

これらの備蓄食料については、賞味期限を目安として、期限を迎える前に必要数を更新し、学校、地域、行政等が行う避難訓練などで使用するなど、防災啓発に活用していく他、特に加水や加熱などの簡単な調理が必要な食料（サバイバルフーズ等）については、炊き出しセットの使用した訓練を実施し、行政や地域住民等の発災時の対応力を向上するように努めていくものとする。

<食料品>

(単位：食)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
サバイバルフーズ	3歳～84歳避難者×65%×3食	95,030	230,760	充足
クラッカー	3歳～84歳避難者×10%×3食	14,620	14,070	充足
アルファ化米 (アレルギー除去)	3歳～84歳避難者×25%×3食	36,550	16,450	充足
レトルト食品(ご飯) (アレルギー除去)			25,710	
レトルト食品(粥) (アレルギー除去)	1～2歳及び85歳以上避難者×3食	10,620	5,225	▲ 5,395

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す
※避難者数に対して全体の食数は充足しているが、幼児・高齢者用の備蓄食糧を順次配備

(2) 飲料水

飲料水の調達は、上下水道部が所有する車両及び資機材を用いて給水を実施することとしているが、給水開始までには一定の時間を要することから、想定する避難者数に対し500ミリリットルを2本(1リットル)確保するものとし、この内、3分の2を公的備蓄、3分の1を家庭内備蓄や流通備蓄等により賄うこととする。

<p>・備蓄飲料(公的備蓄) 目標=53,000人×1.0ℓ×2/3≒35,000ℓ</p>
--

これによると、公的備蓄で整備すべき飲料水は35,000ℓとなりペットボトル(500ミリリットル)に換算すると70,000本の備蓄が必要となる。

現在、市内各所の防災備蓄倉庫等に備蓄している飲料水については、保存期限による更新にあわせて適切に更新するとともに、備蓄倉庫等ごとの標準的な備蓄量を維持していくものとする。

※参考

標準的な1箇所あたりの防災備蓄倉庫等の備蓄量(500mlペットボトル水)

- ・防災備蓄倉庫 約800本、避難所備蓄 48本、孤立支援(公民館)24本

<飲料水>

(単位：本)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
500mlペットボトル	全避難者×2本×2/3	70,000	99,252	29,252

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

(3) 避難所開設備品

① 市内の指定避難所の開設に当たり必要となるトイレは、国のガイドライン⁶では、災害発生当初は避難者約 50 人当たり 1 基、避難が長期化する場合には、約 20 人当たり 1 基としていることから、既設トイレのうち、避難者に開放可能なトイレについては、携帯トイレ等の使用することにより、必要となるトイレを確保する。

なお、備蓄している災害用トイレは、便袋式又は貯留式の簡易洋式トイレ(組立式)であるが、令和元年東日本台風災害時において、使用をためらう人が多かったことから、現在の備蓄は維持しつつも、簡易水洗型仮設トイレの備蓄を進めることにより、避難所の環境改善に努めていくものとする。

② 避難生活における環境を改善するため、各避難所には更衣室や授乳室として使用できるプライベートルームをはじめ、避難者の区画を明確にするためのファミリールーム、避難者の疲労を和らげるための段ボールベッド等についても備蓄を進める。

なお、段ボールベッドについては、令和元年東日本台風災害が発生してから1週間の間に、国から 750 個の支援を受けた実績がある他、令和2年度において段ボールメーカーと災害時応援協定を締結し、段ボールベッドの供給を要請できる体制を整えたことから、必要量の半数は、国等の支援や災害時応援協定先からの調達などにより補うものとする。

<避難所開設備品>

(単位：個)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
トイレ (簡易洋式等)	99,200人×1/50×70%	1,389	1,676	充足
	(一週間後の避難者数×50人に1基×7割)			
	※残りの3割は携帯用トイレ等で対応			
プライベートルーム (2式入り)	避難所250箇所×2	500	563	7
	防災備蓄倉庫56箇所×1	56		
ファミリールーム (4式入り)	避難所250箇所×2	500	874	318
	防災備蓄倉庫56箇所×1	56		
段ボールベッド	避難者53,000人×5%×50% ※残りの5割は国等の支援及び協定先で対応	1,325	448	▲ 877

※備蓄倉庫は整備済み46箇所+整備予定10箇所

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

⁶ 避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン(平成28年4月 内閣府(防災担当))

(4) 避難所運営資機材

避難所開設に当たっては、停電、断水等の発生も予想されることから、次のとおり避難所運営資機材を整備する。

<避難所運営資機材>

(単位：個)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
発電機	防災備蓄倉庫56箇所×1	59	102	▲ 10
	消防・支所等(30箇所)	42		
	拠点備蓄倉庫(4箇所)	11		
投光器一式 (バルーン型含む) (500W×2器、スタンド、コードリール)	防災備蓄倉庫56箇所×2	112	127	▲ 20
	消防・支所等(30箇所)	31		
	拠点備蓄倉庫	4		
浄水器	防災備蓄倉庫56箇所×1	56	46	▲ 10
折畳リアカー	防災備蓄倉庫56箇所×2	112	92	▲ 20
炊き出しセット	防災備蓄倉庫56箇所×1	56	63	▲ 10
	中山間地倉庫・孤立支援備蓄 14箇所	17		

※備蓄倉庫は整備済み46箇所+整備予定10箇所

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

(5) 生活必需品・日常生活用品

避難所生活において必要になる生活必需品及び日常生活用品等については、避難者の性別や年齢等を考慮し公的備蓄を進める。

なお、日常生活用品等のうち、保存期間が短期なものや衛生的な保管が必要なため、備蓄倉庫等において管理することが困難な物資については、今後、事業所等との連携協定等による流通備蓄を積極的に進める。

なお、オムツについては、令和元年東日本台風災害が発生してから1週間の間に、国から915枚の支援を受けた実績がある他、トイレットペーパーやオムツについては、流通備蓄で入手しやすいこと、災害時の物品供給に関する協定を複数締結していることから、必要量の半数は、国等の支援や災害時応援協定先から調達することにより補うものとする。

<生活必需品・日常生活用品>

(単位：個)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
毛布（拠点倉庫）	避難者53,000人×1枚	48,300	95,093	充足
毛布（防災備蓄倉庫）		4,700	3,900	▲ 800
トイレットペーパー	3歳以上1人1日3m×3日（1巻60m）×50% ※残りの5割は国等の支援及び協定先で対応	3,900	4,728	828
汚物処理剤	3歳以上1人1日1回×3日（1箱100回分）	1,600	1,594	▲ 6
オムツ（子供M）	0～2歳避難者×8枚×3日×50% ※残りの5割は国等の支援及び協定先で対応	13,000	12,126	▲ 874
オムツ（大人L）	85歳以上避難者×1/2×4枚×3日×50% ※残りの5割は国等の支援及び協定先で対応	9,600	4,594	▲ 5,006
下着類（男）	防災備蓄倉庫56箇所×50	2,800	3,900	充足
下着類（女）	防災備蓄倉庫56箇所×50	2,800	3,900	充足
生理用品	10～54歳の女性避難者×1/4×4枚×3日	39,000	784,080	充足
調理用小物	防災備蓄倉庫56箇所×2	112	106	▲ 6
バケツ	避難所×1＋防災備蓄倉庫×1	306	565	充足
飲料水袋	避難者数×1/4	13,300	22,050	充足
紙コップ	避難者数×3	159,000	223,600	充足
三角巾特大	防災備蓄倉庫56箇所×200	11,200	9,385	▲ 1,815
ネット包帯	防災備蓄倉庫56箇所×40	2,240	1,621	▲ 619
カイロ(240枚入)	避難者数×1	53,000	95,040	充足
その他、はさみ、燃料携行缶、スリッパ、クーラーボックス、保冷ポット等を適宜整備				

※備蓄倉庫は整備済み46箇所+整備予定10箇所

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

(6) 救助・水防等資機材

大規模災害の際には、近隣住民等による救助活動が多く命を救うことになる。このため消防署所、支所、防災備蓄倉庫等では、地震等に伴う家屋の倒壊等から被災者を救出するための救助資機材や防護資材、河川の氾濫に際して被害を最小限にとどめるための水防資機材等を備蓄する。

<救助・水防等資機材>

(単位：個)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
革手袋	防災備蓄倉庫56箇所×30	1,680	1,421	▲ 259
ノコギリ	防災備蓄倉庫56箇所×10	560	522	▲ 38
大型ハンマー	防災備蓄倉庫56箇所×10	560	493	▲ 67
救助ロープ(10m・30m)	防災備蓄倉庫56箇所×(10+6)	896	823	▲ 73
油圧ジャッキ	防災備蓄倉庫56箇所×2	112	92	▲ 20
ハンドマイク	防災備蓄倉庫56箇所×2	112	93	▲ 19
スコップ	防災備蓄倉庫56箇所×20	1,120	1,082	▲ 38
ブルーシート	消防・支所・拠点倉庫等に配備	6,000	8,013	充足
土のう	消防・支所・拠点倉庫等に配備	40,000	30,110	▲ 9,890
土のう空袋	消防・支所・拠点倉庫等に配備	60,000	85,305	充足

※備蓄倉庫は整備済み46箇所+整備予定10箇所

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

(7) 応急救護所運営資機材

大規模災害発生直後の混乱期に、後方病院へ負傷者が殺到による災害医療機能の混乱を防止するとともに、負傷者のトリアージや応急処置等を行う13箇所の応急救護所においても、停電による影響を軽減するため、次のとおり避難所運営資機材を整備する。

<応急救護所運営資機材>

(単位：個)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
発電機	応急救護所13箇所×1	13	16	充足
投光器一式 (500W×2器、スタンド、コードリール)	応急救護所13箇所×1	13	15	充足
折畳リアカー	応急救護所13箇所×1	13	13	充足

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

(8) 感染症対策物品

避難所開設に当たっては、上記「(3)避難所開設備品」及び「(4)避難所運営資機材」のほか、「新型コロナウイルス感染症」等の防止に必要な物品（マスク・手指消毒剤等）もあわせて公的備蓄を進めていく。

<感染症対策物品>

(単位：個)

品目	必要量の算出方法	備蓄目標	在庫数	過不足
マスク	避難者53,000人×2枚	106,000	268,860	充足
手指消毒液	避難所250箇所×3個	750	1,280	充足
非接触型体温計	避難所250箇所×1個	250	100	▲150
ガウン（防護服）	避難所250箇所×4人×3回	3,000	13,480	充足
使い捨て手袋	避難所250箇所×4人×4回×2組	8,000	72,800	充足
フェイスシールド	避難所250箇所×4人	1,000	1,160	充足
シューズカバー	避難所250箇所×4人×2回×2組	4,000	11,000	充足

「過不足」の▲表示は、整備が必要となる数を表す

(9) その他

危機管理防災課が管理する災害用備蓄品以外にも、他の所属で備蓄等を行っている物資等についても災害対策本部にて災害時の活用を検討する。

第3章 家庭内備蓄等

1 家庭内備蓄

(1) 食料

長野市地域防災計画では、一般流通が十分機能していないと考えられる発災直後から最低でも3日間(可能な限り1週間)は、自らの備蓄で補うことを原則としている。

家庭内備蓄におけるポイントとしては、日常生活でも使用可能でローリングストック⁷により定期的に更新が可能となるもので、次の条件を満たすものが相応しい。

<家庭内備蓄のポイント>

i	長期間保存に耐えられるものであり、賞味期限を確認しながら日常生活で利用することで常に備蓄がある状態にできるもの(ローリングストック方式)。
ii	そのまま食べられるか、お湯(または水)を加える程度の簡単な調理で、手間のかからないもの。
iii	常温で保管ができ、持ち運びが便利なもの。
iv	必要最低限のエネルギーや栄養を補給できるもの。
v	乳幼児、高齢者、アレルギーなど、各家庭の状況に応じたもの。

<備蓄品の具体例>

主食 (エネルギー源)	米、長期保存パック食品(白米・五目御飯・粥)、粉類(小麦粉・ホットケーキ・お好み焼き)、乾麺(ラーメン・そば・うどん・スパゲティ)、餅など
主菜 (タンパク質)	缶詰・瓶詰(肉・魚介類)、レトルト食品(カレー・シチュー)など
副菜 (ビタミン・ミネラル)	フリーズドライ食品(野菜・果物・豆類)、乾物類(乾燥わかめ・干し椎茸)、インスタントみそ汁など
飲料	ミネラルウォーター(1人1日3ℓ)、スポーツ飲料、野菜ジュース、スープ缶詰、お茶類(ペット・缶)など
調味料	塩、しょうゆ、砂糖、みそ、コンソメなど
その他	粉ミルク、ベビーフード、アレルギー除去食品など
食器等	割り箸、紙コップ、紙皿、カセットボンベ、鍋、ラップなど

⁷ 普段の食事に利用する缶詰やレトルト食品などを備蓄食料とし、使った分を買い足していき、常に一定量の備蓄食料がある状態とする。

(2) 生活関連用品

発災直後から避難所等での避難生活を送るために必要な生活必需品を備蓄する必要がある。

特に、ライフラインが止まった場合の非常持出品は、家族構成などに応じて予め必要なものをリュックサック等に入れておき、すぐに持出ができるように準備をしておく。

リュックサック等の重さは、男性用で 15Kg、女性用で 10Kg 以下になるようにまとめ、それ以外の物品は、後日取り出しやすい場所に保管しておく。

<生活関連用品>

非常持出品	携帯ラジオ、ヘルメット、懐中電灯、乾電池、携帯電話充電器・バッテリー、笛、保険証、メガネ、現金、ライター、多機能ナイフなど
衣類・寝具	上着（防寒着）、下着、雨具、靴、スリッパ、皮軍手、毛布、シーツ、寝袋、アルミブランケットなど
生活用品	タオル、洗面用品、口腔ケア用品、衛生用品、生理用品、筆記用具、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、ウエットティッシュ、簡易トイレ、ごみ袋、使い捨てカイロ、防水シート、ロープ、ポリタンクなど
医薬品	常備薬、救急医薬品、処方箋薬など

2 事業所備蓄

企業、事業者、施設管理者等は、災害発生時において来場者や従業員等の安全確保を第一に取組むとともに、帰宅が困難な場合や事業継続を行うために必要な備蓄を行う必要がある。

特にライフラインについては、復旧のめどが立つまでには数日を要することもあるため、3日間程度の食料の備蓄を確保し、可能であれば帰宅等の安全が確認できるまでの間、従業員を待機させる対策をとる。

また、定期的な防災訓練等において備蓄食料を使用することにより、定期的な更新を図るとともに、従業員の防災意識の高揚を図る必要がある。

<事業所備蓄品>

資 機 材 等	ラジオ、ヘルメット、懐中電灯、乾電池、、防水シート、バール、テント、ポリタンク、ロープ、救急箱、発電機、灯光器など
生 活 必 需 品	ティッシュペーパー、トイレトペーパー、ウエットティッシュ、ごみ袋、使い捨てカイロ、毛布など
食 料 品	ミネラルウォーター、、長期保存パック食品（白米・五目御飯・粥）、缶詰、カップ麺、フリーズドライ食品（野菜・果物・豆類）など

3 流通備蓄

民間事業者等とあらかじめ協定を締結し、災害時に必要な物資を市の要請に基づき調達する流通備蓄は、大量の備蓄品を保管するため倉庫等が不用なうえ、衛生的な管理が必要なものや保存期間が短い物資に対しては有効な手段となる。

一方、必要物資の在庫が事業者側の判断に委ねられるため、災害発生時に必要量が確保できない可能性もあることから、事業活動を続けるために保有している在庫の一部をあらかじめ購入する「ランニングストック（流通在庫備蓄）」の検討など、公的備蓄とのバランスや安定的なストックなどの調整を図りつつ、連携協定の締結を積極的に推進し、流通備蓄の充実を図る必要がある。

<流通備蓄の検討を要するもの>

粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、乳児用おしりふき、ウエットティッシュ、カセットコンロ、カセットボンベ、洗剤、コンタクト洗浄液、乾電池、段ボールベッドなど

4 協定等に基づく物資調達

災害発生時に様々な応急復旧活動と物資や人材等の支援を相互に行う応援協定については、自治体間によるものや医療機関、民間事業者などのものを含めると、現在 80 件（うち、平常時の協定分 4 件）の協定を締結している。

特に自治体間の連携協定については、災害発生直後は被災自治体の災害対応力が著しく低下することは予想される中で、災害からの復旧・復興の大きな助けとなることから、備蓄物資等に係る情報交換などを進め、緊急に必要なとなった物資を自治体間相互に補完できるよう連携を強化する必要がある。

今後は、事業者等との協定により、避難所における空調設備、段ボールベッド、プライバシーを確保するための資機材などを整備するとともに、保健給食課との連携による給食センターでの食事の提供など、公共施設の有効活用についても検討を進める。

<長野市との物資供給に関する協定>

協定名称	協定先	主な内容
災害時における食糧の安定配給に関する協定	長野市開発公社	食料
災害時における飲料水の供給に関する協定（覚書）	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	飲料水
災害時における飲料水の供給に関する協定（覚書）	サントリービバレッジサービス株式会社	飲料水
災害時における資機材リースの協力に関する協定	日本建設機械レンタル協会長野支部	発電機、投光器、コンテナハウス、トイレ、暖房機、扇風機、衛星電話等
災害時における石油類燃料の供給等に関する協定	長野県石油商業組合	石油類燃料
	長野県石油商業組合北信支部	
災害時におけるLPガスの供給等に関する協定	長野LP協会長野支部	LPガス、ガス器具
	(一社)長野県LPガス協会	
災害時における量の提供に関する協定	5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会	畳（避難所用）
災害時における地図製品等の供給等に関する協定	株式会社ゼンリン新潟・長野統括部長野営業所	地図製品等
災害時における協力に関する協定	公益社団法人南長野青年会議所	各種物品
災害時における食料等の供給及び運搬に関する協定	株式会社デリックちくま	食料
災害時における応急物資の供給及び防災教育の支援に関する協定	興亜化成株式会社	各種物品、防災教育
	HARIO株式会社	
災害時における食料等の供給及び運搬に関する協定	バイクックコーポレーション(株)	食料
災害時等における物資の供給に関する協定	レンゴー株式会社長野工場	段ボールベッド等
災害時等における支援物資の受入及び配送等に関する協定	佐川急便(株)信越支社	物資輸送拠点開設・配送
災害時等における物資供給に関する協定	NPO法人コメリ災害対策センター	各種物品

令和4年4月1日現在

<長野県との物資供給に関する協定>

協定名称	協定先	主な内容
災害時における物資の調達に関する協定	協同組合長野アークス	食料品、寝具、衣類、炊事道具、食器、日用品、光熱材料等
災害時における物資の調達等に関する協定	長野県生活協同組合連合会	食料品・生活必需品等
災害救助に必要な物資の調達に関する協定	株式会社セブンイレブンジャパン	おにぎり、弁当、牛乳、粉ミルク、カップラーメン、果実、日用品等
	株式会社ローソン	
災害救助に必要な物資の調達・運搬及び災害発生時の帰宅困難者支援に関する協定	株式会社カインズ	災害救助に必要な物資
	株式会社ケーヨー	
	NPO法人コメリ災害対策センター	
	株式会社綿半ホームセンター	
	株式会社アップルランド	
	イオン株式会社中部カンパニー	
災害時等における段ボール製品の調達に関する協定	東日本段ボール工業組合	段ボールベッド、段ボール間仕切り等

令和4年4月1日現在

また、大きな被害をもたらした令和元年東日本台風災害では、本市は発災直後から備蓄物資の提供に加えて、支援物資拠点を設置し、国、県及び応援市町村等からのプッシュ型支援による物資の受け入れを行った。

今後は、受け入れた支援物資を迅速に仕分け、各避難所へ送り届けるための体制整備を災害時応援協定先との連携により進めていく。

<参考>令和元年東日本台風災害における物資輸送拠点の支援物資搬入実績

支援物資内容	支援物資量（1週間）	支援物資内容	支援物資量（1週間）
食料（主食、副食）	25,976食	飲料（水、お茶等）	55,320本
寝具類（毛布、ブランケット）	4,500枚	段ボールベッド	750個
マットレス	700枚	衣料品（下着、洋服等）	16,236着
ミルク（液体・粉）	192本	おむつ・生理用品	915枚

<参考>支援物資の配送等に係る災害時応援協定

締結先	協定日	内容
佐川急便(株)信越支社	R2年9月11日	災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定

第4章 防災備蓄倉庫等

1 防災備蓄倉庫等の現状

(1) 防災備蓄倉庫等の種類

本市では、発災時において効果的に備蓄品を供給できるよう、それぞれの備蓄倉庫等の用途別に備蓄品を分散して保管している。また、それぞれの用途に応じて備蓄品目も変えている。

① 主に「避難所」で必要とする物品や食料等を備蓄

・コンテナ型防災備蓄倉庫（写真⇒）



② 大型備蓄品の保管や避難所等へ物品を届ける拠点

・拠点倉庫

③ 中山間地の孤立対策のための備蓄ほか

・中山間地用備蓄場所（支所等に食料・水・毛布等の避難所運営資機材を備蓄）

・孤立対策食料備蓄（避難所となっている公民館等に、食料や水を備蓄）

・避難所用備蓄（防災備蓄倉庫が設置されていない避難所に、食料や水、毛布等を備蓄）

(2) 設置状況

防災備蓄倉庫等の種別ごとの設置数と設置場所は次のとおり。

	種別	設置数	設置場所等
①	防災備蓄倉庫	46箇所	指定避難所・指定避難場所(学校、公園等)
②	拠点倉庫	9箇所	主に用途廃止した公共施設等を活用
③	中山間地用備蓄場所	16箇所	中山間地の支所等
	孤立対策食料備蓄	47箇所	中山間地の公民館等
	避難所用備蓄	45箇所	指定避難所となっている小中学校体育館等

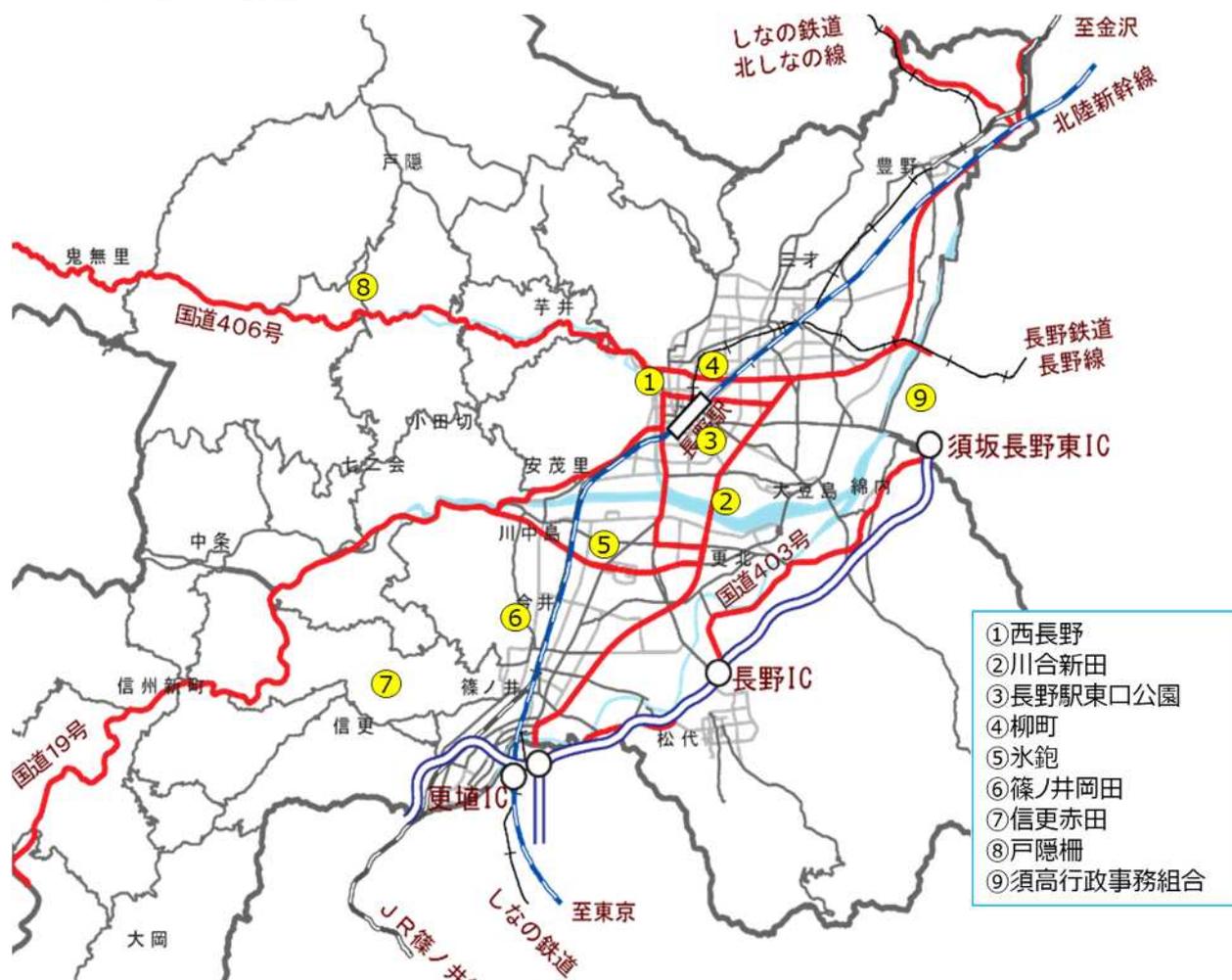
(3) 拠点倉庫の現状

拠点倉庫は、大型備蓄品を保管する他、避難所へ物品を届けるために設置する防災対策上の重要な拠点となっている。

現在、市内外の9箇所に設置されているが、倉庫専用の建物としては3箇所のみとなっており、それ以外は、倉庫ではない廃止された公共施設を活用しているものである。

拠点倉庫として新設された長野駅東口公園拠点倉庫を除き、平均築33年経過と、老朽化が進んでいる。また、近年段ボールベッドなどの大型備蓄品を保管する必要がある中で、のべ床面積 3,353 m²の拠点倉庫に、余裕なく備蓄品を詰め込んでいる状況にある。

(4) 拠点倉庫の配置状況



(5) 拠点倉庫の概要

① 西長野 (旧消防西長野分署)	② 川合新田	③ 長野駅東口公園
所在地：大字西長野 建築：平成13年、鉄骨造 経過：築21年 延床面積：603㎡	所在地：大字川合新田 建築：平成5年、鉄骨造 経過：築29年 延床面積：133㎡	所在地：大字栗田 建築：平成30年、鉄骨造 経過：築4年 延床面積：94㎡
④ 柳町 (旧柳町働く女性の家)	⑤ 水飽 (旧消防水飽分署)	⑥ 篠ノ井岡田 (旧岡田児童館)
所在地：大字三輪 建築：昭和52年、鉄骨造 経過：築45年 延床面積：450㎡	所在地：稲里町中水飽 建築：昭和46年、RC造 経過：築51年 延床面積：234㎡	所在地：篠ノ井岡田 建築：昭和53年、木造 経過：築44年 延床面積：305㎡
⑦ 信更赤田 (旧更科福祉園)	⑧ 戸隠柵 (旧戸隠リサイクル施設)	⑨ 須高行政事務組合 (倉庫の一部を借用)
所在地：信更町赤田 <体育館> 建築：昭和59年、鉄骨造 経過及び延床面積：築38年、540㎡ <児童棟> 建築：平成13年、RC造 経過及び延床面積：築21年、360㎡	所在地：戸隠栃原 建築：昭和53年、鉄骨造 経過：築44年 延床面積：434㎡ ※元は民間工場	所在地：須崎市大字小山 建築：昭和61年、鉄骨造 経過：築36年 延床面積：200㎡

(令和4年10月1日現在)

2 防災備蓄倉庫等の配置と今後の方向性

本市の防災備蓄力を将来にわたって維持向上させるため、防災備蓄倉庫等の配置と今後の方向性を次のとおり定めるものとする。

(1) 拠点倉庫の配置の考え方

- ① 避難所への物品搬入、防災備蓄倉庫への補充のため、市内に分散して設置
- ② 設置場所については、人口分布や昼夜の人口変動等を考慮
- ③ 受援計画や台風災害の経験を踏まえ、物資配送等に効果的な場所を選定
- ④ 浸水想定区域・土砂災害警戒区域等をできるだけ避ける。
- ⑤ 市北部と南部に、主要な拠点倉庫を設置し、適切な保管・在庫管理が行えるよう必要な整備を行う。

(2) 拠点倉庫の適正規模について

現在の拠点倉庫の延べ床面積は、約 3,330 m²である。

段ボールベッド等、充足していない物があり、発災時の搬出入や容易に棚卸ができる状態にするため、拠点倉庫を計画的に整備していく必要がある。

公共施設マネジメントの総量縮減目標はあるが、防災備蓄は市民の命に関わるものであり、倉庫は人件費・光熱費等のコストが著しく低い建物である。

よって、拠点倉庫の適正規模は、約 5,000 m²とする。

(3) 次期計画で実施を目指す、拠点倉庫整備について検討の方向性

国や他自治体等からの支援物資の荷捌きが可能で、1,000 m²規模の拠点倉庫を市内2か所に整備することを検討する。設置場所等については次期計画で定めることとする。

(4) コンテナ型防災備蓄倉庫等の配置の考え方

- ① 避難所・避難場所の敷地内又は近接する場所に設置
- ② 大規模な避難所で、施設敷地に余裕があり設置できる場所から優先的に配置
- ③ 市域全体のバランスを見て、特定の地域に偏らないように設置
- ④ 敷地に余裕がなく設置できない大規模避難所には、避難所用備蓄を行う
- ⑤ 中山間地の被災者等を守るために、中山間地用備蓄場所・孤立対策食料備蓄を行う

(5) コンテナ型防災備蓄倉庫の整備の方針

原則、年2か所ずつ予算化し必要性の高い場所から整備を進める。予算の中で老朽化した既存倉庫の更新も実施する。

3 第四次備蓄品等整備計画期間中の拠点倉庫整備方針

現状の課題を踏まえて、備蓄品の適正な維持管理と発災時における機動的な対応能力を高めるため、市の北部と南部における主要な拠点倉庫を整備して機能を集約させる。

市の北部と南部における主要な拠点倉庫を整備して機能を集約させる。

老朽化が著しい施設、交通利便性が悪い施設については、主要な拠点倉庫の整備等に併せて機能を集約化したのち廃止する。

なお、本計画期間中においても、公共施設マネジメントが進捗していく中で、他の施設との合築や効果的な跡利用等が可能であれば検討する。

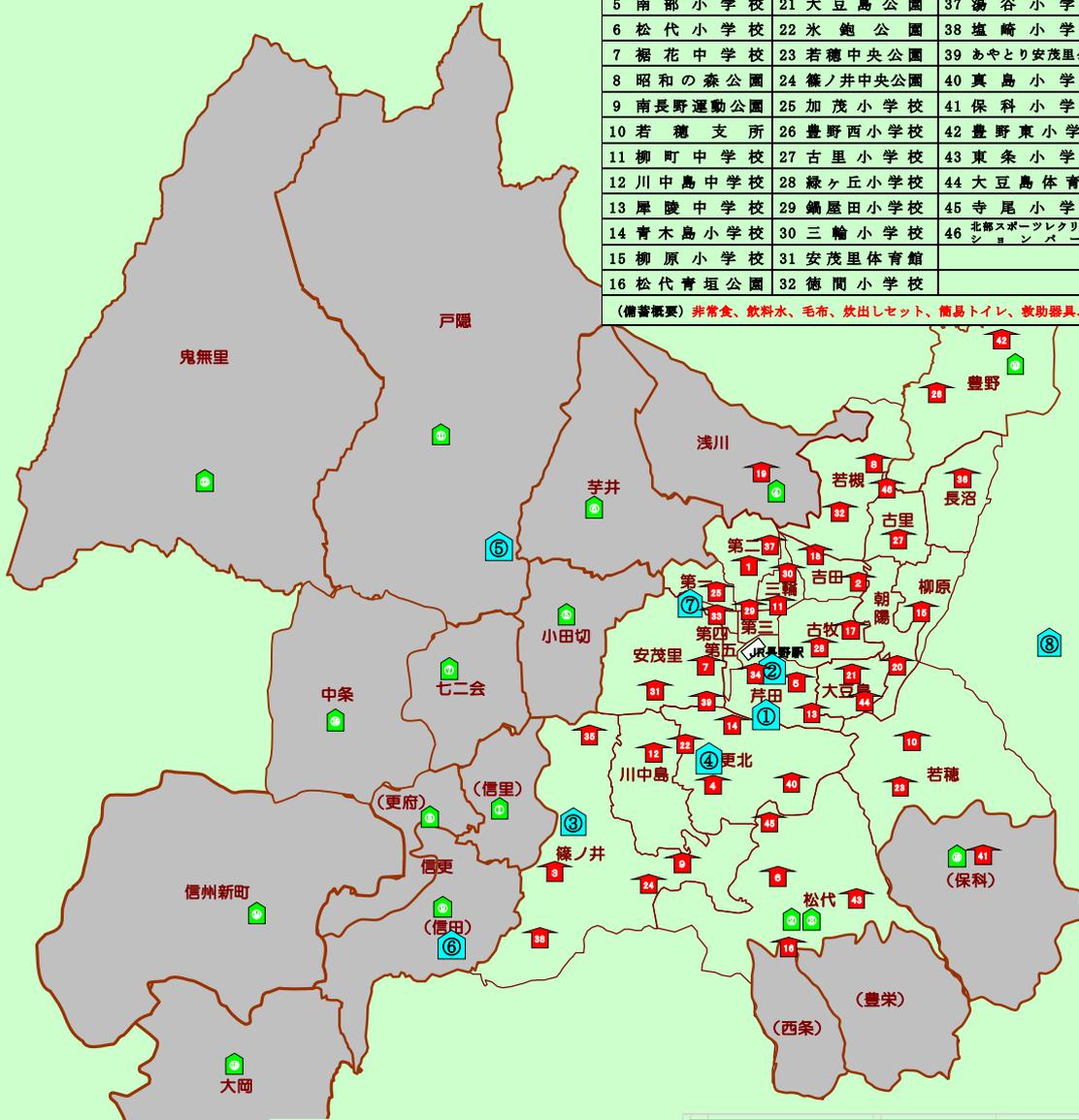
【整備方針に基づく各施設の対応】

施設名	第4次備蓄品等整備計画における「整備方針」
①西長野	市北部の主要な倉庫として維持して行くために、倉庫として必要な 改修を実施 する
②川合新田	土嚢等の水防倉庫として維持していく (建物は老朽化していくため、第5次計画期間中の対策を検討)
③長野駅東口公園	建物は新しく立地も利便性が高いため今後も維持して行く
④柳町	市北部の主要な倉庫として維持して行く (老朽化が進んでいるため、合築されている柳町老人福祉センターの存廃によって対応が必要となる)
⑤氷鉦	市南部の主要な倉庫として維持して行くために 改築を実施 する
⑥篠ノ井岡田	老朽化が著しく、使い勝手も悪いため収納物品の整理を行った後 廃止
⑦信更赤田	交通の利便性は低いが、面積が大きく収容力が高い施設であるため、第5次計画期間中の対策を検討していく
⑧戸隠柵	老朽化が著しく、交通の利便性も低いいため収納物品整理を行った後 廃止
⑨須高行政事務組合	市東部に位置する倉庫として維持して行く (無償で借りているものであり、必要に応じて第5次計画期間中の対策を検討)

< 資料編 >

I 倉庫等配置状況

防災備蓄倉庫等配置状況 令和4年4月1日現在



防 災 備 蓄 倉 庫		
1 城山公園	17 古牧小学校	33 後町ホール
2 長野運動公園	18 吉田小学校	34 長野駅東口公園
3 篠ノ井西中学校	19 浅川小学校	35 小松原体育館
4 下水鮑小学校	20 エムウェーブ	36 穂保高台公園
5 南部小学校	21 大豆島公園	37 湯谷小学校
6 松代小学校	22 水鮑公園	38 塩崎小学校
7 裾花中学校	23 若穂中央公園	39 あやとり安茂里公園
8 昭和の森公園	24 篠ノ井中央公園	40 真島小学校
9 南長野運動公園	25 加茂小学校	41 保科小学校
10 若穂支所	26 豊野西小学校	42 豊野東小学校
11 柳町中学校	27 古里小学校	43 東条小学校
12 川中島中学校	28 緑ヶ丘小学校	44 大豆島体育館
13 犀陵中学校	29 鍋屋田小学校	45 寺尾小学校
14 青木島小学校	30 三輪小学校	46 北部スポーツレクリエーションパーク
15 柳原小学校	31 安茂里体育館	
16 松代青垣公園	32 徳間小学校	

(備蓄概要) 非常食、飲料水、毛布、炊出しセット、簡易トイレ、救助器具、他

中山間地等用備蓄場所	
1 信里倉庫	9 信田倉庫
2 松代支所	10 豊野支所
3 松代支所	11 戸隠支所
4 浅川支所	12 鬼無里支所
5 小田切支所	13 大岡支所
6 芋井支所	14 信州新町支所
7 七二会支所	15 中条支所
8 信更支所	16 JAグリーン長野保科

(備蓄概要) 食料280~1,600食、飲料水400リットル、毛布70~500枚、炊出しセット、水防資機材、照明器材、トイレほか

拠点倉庫	備蓄概要
1 川合新田倉庫	土のう2,500~6,000袋 ブルーシート等水防資機材・その他
2 長野駅東口公園倉庫	大型ヒーター・大型発電機 非常用食料・その他
3 篠ノ井岡田倉庫 (旧岡田児童館)	間仕切 420基 毛布 24,300枚 組立個室 264基 簡易トイレ 272基
4 水鮑倉庫 (旧消防水鮑分署)	土のう3,000~4,000袋 簡易トイレ(洋式220基・車椅子用22基)・他
5 戸隠倉庫 (旧戸隠リサイクル施設)	インフルエンザ対策用品 組立トイレ・その他
6 信更赤田倉庫 (旧更科福祉園)	簡易トイレ(組立洋式11基・洋式61基) 毛布11,520枚・紙おむつ等
7 西長野倉庫 (旧消防西長野分署)	インフルエンザ対策用品(防護服) 扇風機・段ボールベット・その他
8 須高行政組合防災倉庫	貯留式仮設トイレ(洋式44基・車椅子用26基)・簡易トイレ129基・他

避難所用備蓄	避難所指定の 小中学校体育館等
防災備蓄倉庫が整備されている避難所を除く フラッカー140食・毛布20枚・簡易トイレ2基他	45 箇所
孤立対策食料備蓄	中山間地公民館等
お粥50~300食 飲料水(500ml)24本~48本	47 箇所

Ⅱ 防災備蓄倉庫等備蓄状況

☞ 防災備蓄倉庫（令和4年4月1日現在）

<主な備蓄品①>

地 区	名 称	主要品目一覧				トイレ類		搬送・避難所			飲料水・炊き出し関係				救助資機材類							
		非常食 合計	飲料水 合計	トイレ 合計	毛布 類合計	汚物 処理剤	トイレ トベーパー	折り 畳み リヤカー	ブルー ムーム	ブルー ムーム (間仕 切壁)	炊き 出し セット	浄水 器	飲料 水袋	紙 コップ	革手 袋	ノコ ギリ	パ ール	大 型 ハン マー	油 圧 ジャ ッキ	ハ ンド マイ ク	二 つ 折 り 担 架	
																						食
第一	加茂小学校防災倉庫	2,960	408	6	80	4	1	2			1	1	400	4,000	30	8	10	10	2	2	1	
第二	城山公園防災倉庫	3,620	408	5	80	4	1	2	1	1	1	1	800	4,000	33	12	21	10	2	2	1	
	湊谷小学校	4,940	408	7	110	4	1	2	1		1	1	400	2,500	30	10	10	10	2	2	1	
第三	鏡屋田小学校	5,420	408		90			2	2	1	1	1	200	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
第四	後町ホール	4,940	408	7	80	4	1	2	1		1	1	400	4,000	26	10	10	10	2	2	1	
	南部小学校防災倉庫	3,140	378	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	9	10	10	2	2	1	
芹田	犀殿中学校防災倉庫	5,540	408	7	80			1	2	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	3	1	
	長野駅東口公園防災倉庫	5,420	408	7	80	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	8	2	2	3	
古牧	古牧小学校防災倉庫	5,480	384	5	80	5	1	2			1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	緑ヶ丘小学校	5,540	408	2	90	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
三輪	柳町中学校防災倉庫	5,540	408	5	80	5	1	2		1	1	1	500	3,200	30	10	10	10	2	2	1	
	三輪小学校	3,140	408	2	110	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
吉田	長野運動公園防災倉庫	6,020	408	5	80	5	1	2	1		1	1	1,000	4,000	30	12	20	10	2	2	1	
	吉田小学校防災倉庫	5,300	408	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
古里	古里小学校	5,120	408	2	80	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	北部スポーツ・レクリエーションパーク防災倉庫	3,140	408	9	110	6	1	2	1	1	1	1	800	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
柳原	柳原小学校防災倉庫	4,520	408	5	110	5	1	2	1		1	1	400	4,000	30	10	10	9	2	2	2	
浅川	浅川小学校防災倉庫	5,480	408		80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	9	2	2	1	
大豆島	大豆島公園防災倉庫	5,480	408	7	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	大豆島体育館	5,540	408	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
朝陽	エムエーブ防災倉庫	5,180	408	5	70	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
若槻	昭和の森公園防災倉庫	4,340	408	5	80	5	1	2			1	1	550	4,000	30	12	9	10	2	2	1	
	徳間小学校	4,880	360	7	80	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
長沼	穂保高台公園	3,080	360	8	56	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	9	2	2	1	
豊野	豊野西小学校防災倉庫	3,740	408	8	100	4	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	2	
	豊野東小学校防災倉庫	3,740	408	7	80	6	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
安茂里	裾花中学校防災倉庫	4,040	408	5	80	5	1	2		1	1	1	600	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	安茂里体育館	4,880	372	7	70	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	9	10	10	2	2	2	
	あやとり安茂里公園	4,340	408	7	80	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
篠ノ井	篠ノ井西中学校防災倉庫	4,760	360	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	篠ノ井中央公園防災倉庫	5,540	408	7	80	1	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	塩崎小学校	4,940	408	7	80	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	小松原体育館	4,100	408	7	80	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
川中島	南長野運動公園防災倉庫	4,940	360	5	90	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	5	
	川中島中学校防災倉庫	5,540	360	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	20	10	10	2	2	1	
	水鏡公園防災倉庫	5,540	408	5	80	5	4	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
更北	青木島小学校防災倉庫	5,540	408	5	80			1	2		1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	下水鏡小学校防災倉庫	3,140	360	5	110	5	1	2		1	1	1	400	4,050	27	12	10	10	2	2	1	
松代	真島小学校	3,740	408	7	110	5	1	2	1	1	1	1	400	4,200	30	10	10	10	2	2	1	
	松代小学校防災倉庫	3,140	360	5	80	5	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	松代青垣公園防災倉庫	5,540	360	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	東条小学校	4,340	408	2	110			1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1
	寺尾小学校備蓄倉庫	3,140	408	7	110	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
若穂	若穂支所防災倉庫	4,940	360	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	若穂中央公園防災倉庫	4,940	408	5	80	5	1	2		1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
	保科小学校	3,740	408	2	110	4	1	2	1	1	1	1	400	4,000	30	10	10	10	2	2	1	
合 計		212,060	18,246	244	3,956	191	50	92	25	39	46	46	20,050	181,950	1,376	474	480	455	92	93	55	

<主な備蓄品②>

地区	名称	水防資機材類			照明資機材類			生活用品類							応急救護所用資機材						
		スコープ	土のう空袋	ブルーシート	投光器	コードリール	発電機（ガソリン式他）	三角巾特大	ネット包帯	下着類（男）	下着類（女）	生理用品	使い捨てカイロ	オムツ（子供M）	オムツ（大人L）	（応急救護所用） 発電機	（応急救護所用） 投光器	（応急救護所用） 投光器スタンド	（応急救護所用） コードリール	（応急救護所用） ガソリン携行缶	（応急救護所用） 折り畳みリヤカー
		本 割・平	袋	枚 2×3 間	器 500w ×2	個 30m	基 HONDA EU26i	枚 105× 150cm	枚 頭部 用	箱	箱	箱 1080 枚入	箱 1箱 240枚	枚	枚	台	基	台	本	缶 10L	台
第一	加茂小学校防災倉庫	20	800	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	216	108						
第二	城山公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	200							
	湯谷小学校	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	216	108						
第三	鍋屋田小学校	20	400	20	4	2	1	170	60	1	1	1	4	2	2						
第四	後町ホール	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	2								
芹田	南部小学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4	200	72						
	摩殿中学校防災倉庫	20	400	20	4	3	2	175	36	1	1	1	4	200	72	1	2	1	1	1	1
	長野駅東口公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	200	108						
古牧	古牧小学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4								
	緑ヶ丘小学校	20	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4	432	216						
三輪	柳町中学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	200	72						
	三輪小学校	20	400	20	4	2	1	275	60	1	1	1	4	2	2						
吉田	長野運動公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	150	42	1	1	1	4								
	吉田小学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4								
古里	古里小学校	23	400	20	4	2	2	175	60	1	1	1	4	432	216						
	北郷スポーツ・レクリエーションパーク防災倉庫	20	400	20	4	2	1	150	30	1	1	1	4	216	108						
柳原	柳原小学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	18							
浅川	浅川小学校防災倉庫	20	240	20	4	2	1	175	26	1	1	1	4	200	72						
大豆島	大豆島公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	6	200	72						
	大豆島体育館	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	4	4						
朝陽	エムウエーブ防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4	200	72						
若槻	昭和の森公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4	150	72						
	徳間小学校	20	400	19	4	2	1	175	29	1	1	1	4	432	216						
長沼	穂保高台公園	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4								
豊野	豊野西小学校防災倉庫	20	4,400	78	4	2	1	175	30	1	1	1	4								
	豊野東小学校防災倉庫	20	400	10	4	2	1	100	20	1	1	1	4	216	108						
安茂里	荻花中学校防災倉庫	15	400	20	4	2	1	175	24	1	1	1	4	200							
	安茂里体育館	12	400	20	4	2	1	175	20	1	1	1	4	432	216						
	あやとり安茂里公園	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	200	108						
篠ノ井	篠ノ井中学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	170	30	1	1	1	4	4	4	1	2	1	1	1	1
	篠ノ井中央公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	170	30	1	1	1	4	2	2						
	塩崎小学校	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	1	1						
	小松原体育館	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	216	108						
川中島	南長野運動公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	2	2						
	川中島中学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	170	30	1	1	1	4	4	4	1	2	1	1	1	1
更北	水鉾公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	200	72						
	青木島小学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	200	72						
松代	下水鉾小学校防災倉庫	20	400	19	4	2	1	150	24	1	1	1	4	200	72						
	真島小学校	20	400	20	4	2	1	175	30	1	1	1	4	4	4						
	松代小学校防災倉庫	20	400	20	4	2	1	170	30	1	1	1	4	4	4						
	松代青垣公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	170	30	1	1	1	4	4	4						
若穂	東条小学校	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	1	1						
	寺尾小学校備蓄倉庫	20	400	20	4	2	1	100	20	1	1	1	4	216	108						
	若穂支所防災倉庫	20	4,100	70	4	2	2	170	30	1	1	1	4	4	4						
若穂	若穂中央公園防災倉庫	20	400	20	4	2	1	170	30	1	1	1	4	4	4						
	保科小学校	20	400	20	4	2	1	175	36	1	1	1	4	4	4						
合計		910	26,340	1,016	184	93	49	7,885	1,471	46	46	46	184	5,820	2,512	3	6	3	3	3	3

☞ 防災拠点倉庫（令和4年4月1日現在）

<主な備蓄品①>

地 区	名 称	主要品目一覧				トイレ類		避難所開設備品				飲料水・炊き出し関係					
		非常食合計	飲料水合計	トイレ合計	毛布類合計	汚物処理剤	トイレ用ペーパー	ブルーシート	ブルーシート（開仕切替）	ひなんルーム	段ボールベッド	浄水器	やかん	カセットコンロ	パケツ	飲料水袋	紙コップ
		食	ℓ	基	枚	箱 大便100個 2箱入	箱 24巻入	箱 2式入	箱 4式入	式	台	器	個	式	個	枚	個
第一	西長野拠点倉庫	6,400									437						
第三	柳町拠点倉庫（R4.10.1〜）																
芹田	川合新田倉庫	490	300	2	280		8					1	15	70	50	90	29,700
	長野駅東口公園拠点倉庫	16,830			16,490												
篠ノ井	篠ノ井岡田倉庫			263	23,542	376			698	834							
更北	氷飽倉庫	5,420		226		411		29									
信更	信更赤田倉庫（旧更級福祉園）			428	17,520	252		433									
戸隠	戸隠倉庫			290			23		63								
市外	須高行政事務組合倉庫			261	8,320	255		30									
合 計		29,140	300	1,470	66,152	1,294	31	492	761	834	437	1	15	70	50	90	29,700

<主な備蓄品②>

地 区	名 称	救助敷材類				水防資機材類				照明資機材類				生活用品類						
		ノコギリ	パール	大型ハンマー	二つ折り担架	スコップ	土のう	土のう空袋	ブルーシート											
		本	本	本	基	本	袋	袋	枚	基	基	個	箱	箱	箱	箱	箱	箱	箱	
第一	西長野拠点倉庫																			
第三	柳町拠点倉庫（R4.10.1〜）																			
芹田	川合新田倉庫	3	10	10	26	100	3,200		80			7	21						60	2
	長野駅東口公園拠点倉庫											1								
篠ノ井	篠ノ井岡田倉庫																			
更北	氷飽倉庫						3,250	12,350	190		1									
信更	信更赤田倉庫（旧更級福祉園）															545			152	66
戸隠	戸隠倉庫																30			
市外	須高行政事務組合倉庫																			
合 計		3	10	10	26	100	6,450	12,350	270	4	11	21	8	8	596	30	60	154	68	

<主な備蓄品③>

地 区	名 称	その他(主に拠点備蓄倉庫)													
		ヘルメット	トリアージタグ	ツルハシ	折り畳みテント	金てこ	鉄杭	管杭	エアテント	土のう作成器	プラ食器	合羽	ジェットヒーター	大型扇風機	簡易シャワー(WOIA)
		個	枚	本	式	本	本	本	式	台	個	着	台	台	基
第一	西長野拠点倉庫												4	70	3
第三	柳町拠点倉庫（R4.10.1〜）														
芹田	川合新田倉庫	96		35	14	30	10	10		4	200	330			
	長野駅東口公園拠点倉庫												1		
篠ノ井	篠ノ井岡田倉庫														
更北	氷飽倉庫								1						
信更	信更赤田倉庫（旧更級福祉園）														
戸隠	戸隠倉庫		6,500												
市外	須高行政事務組合倉庫														
合 計		96	6,500	35	14	30	10	10	1	4	200	330	5	70	3

中山間地用備蓄（令和4年4月1日現在）

<主な備蓄品①>

地 区	名 称	主要品目一覧				生活・飲料水・炊き出し関係						救助資機材類				
		非常食合計	飲料水合計	トイレ合計	毛布類合計	フアミリールーム (間仕切壁)	炊き出しセット	バケツ	飲料水袋	紙コップ	スプーン	革手袋	ノコギリ	ボール	大型ハンマー	二つ折り担架
							器	個	枚	個	本	双	本	本	本	
		食	ℓ	基	枚	箱 4式入	器 釜55ℓ	個 10ℓ	枚 10ℓ ・5ℓ	個 205cc	本 プラ 特大	双	本	本 φ25mm 1.2m	本 両口 4.5kg	基
浅川	浅川支所	440	408	5		2		3	100	600	600	3	3	3	2	1
豊野	豊野支所（豊西小分含む）	3,080			1,330											
榛ノ井	信里倉庫	1,190	204	5	200	2	1	3	100	300	300	3	3	3	2	1
松代	松代支所（西条分）	440	408	5	150	2		3	100	500	500	3	3	3	2	1
	松代支所（豊栄分）	440	408	5	150	2	1	3	100	500	500	3	3	3	2	1
若穂	保科倉庫	740	204	5	500	2		3	100	400	400	3	3	3	2	1
小田切	小田切支所	590	432	5	150	2	1	3	100	200	200	3	3	3	2	1
芋井	芋井支所	440	408	5	230	2	1	3	100	200	200	3	3	3	2	1
七二会	七二会支所	950	432	5	150	2	1	3	100	200	200	3	3	3	2	1
信更	信更支所	490	408	5	70	2		3	100	200	200	3	3	3	2	1
	信田倉庫	640	480	5	80	2	1	3	100	200	200	3	3	3	2	1
戸隠	戸隠支所	320	408	5	400	2	1	3	100	300	300	3	3	3	2	1
鬼無里	鬼無里支所	540	408	5	460	2	3	3	100	200	200	3	3	3	2	1
大岡	大岡支所	540	408	5	400	2	1	3	100	200	200	3	3	3	2	1
信州 新町	信州新町支所	2,020	408	2	400	1	2	3	100	200	200	3	3	3	2	1
中条	中条支所（総合市民センター）	735	384	1	135	1	1	3	100	200	200	3	3	3		
合 計		13,595	5,808	68	4,805	28	14	45	1,500	4,400	4,400	45	45	45	28	14

<主な備蓄品②>

地 区	名 称	照明資機材類					生活用品類							
		投光器	投光器スタンド	コードリール	発電機 (ガソリン式他)	燃料携行缶	三角巾特大	ネット包帯	下着類(男)	下着類(女)	生理用品	使い捨てカイロ	オムツ(子供M)	オムツ(大人L)
		器	器	個	基	個	枚	枚	箱	箱	箱	箱	枚	枚
		500w ×2		30m	HONDA EU26i	20ℓ	105× 150cm	頭部 用			1080 枚入	1箱 240枚		
浅川	浅川支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
豊野	豊野支所（豊西小分含む）	2	1	1	2	1								
榛ノ井	信里倉庫	2	1	1	1	1	100	10	1	1	6	4	1	1
松代	松代支所（西条分）	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
	松代支所（豊栄分）	2	1	1	1	1	100	10	1	1	6	4	1	1
若穂	保科倉庫	2	1	1	1	1	100	10	10	10	6	4	1	1
小田切	小田切支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
芋井	芋井支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
七二会	七二会支所	2	1	1	1	1	100	10	1	1	6	3	1	1
信更	信更支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
	信田倉庫	2	1	1	1	1	100	10	1	1	6	4	1	1
戸隠	戸隠支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
鬼無里	鬼無里支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
大岡	大岡支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	2	1	1
信州 新町	信州新町支所	2	1	1	2	1	100	10	1	1	6	4	1	1
中条	中条支所（総合市民センター）	2	2	2	3	3	100	10	1	1				
合 計		32	17	17	28	18	1,500	150	24	24	84	53	14	14

6 孤立対策用備蓄（令和4年4月1日現在）

地 区	名 称	所 在 地	食料・飲料・炊き出し			照明資機材類					その他		
			非 常 食 合 計	飲 料 水 合 計	炊 き 出 し セ ツ ト	投 光 器	投 光 器 ス タ ン ド	コ ー ド リ ー ル	発 電 機 （ ガ ソ リ ン 式 他 ）	燃 料 携 行 缶	救 助 用 工 具 箱	ヘ ル メ ッ ト	
													食
浅川	門沢公会堂	門沢4741	75	12									
	畑山生活改善センター	浅川畑山77-3	75	12									
篠ノ井	山布施公民館	篠ノ井山布施127-1	75	12									
	遊谷公民館	篠ノ井山布施1667-4	75	12									
	十二公民館	篠ノ井有旅4459	75	12									
松代	松代公民館西条分館	松代町西条3650	75	12									
	赤柴公民館	松代町豊栄2498-1	75	12									
若穂	山新田林業センター	若穂綿内3136-1	75	12									
芋井	荻久保改善センター	入山2573	75	12									
	沢尻改善センター	入山3747	75	12									
	上ヶ屋公民館藤原分館	上ヶ屋2471-1929	75	12									
七二会	小坂公民館	七二会1132-2	75	12									
	岩草公民館	七二会2687-4	75	12									
	中尾公民館	七二会3173-1	75	12									
	岩草公民館（遠見公民館分）	岩草区公民館へ保管	75	12									
	戸倉公民館（上戸倉公民館分）	戸倉公民館へ保管	75	12									
	戸倉公民館	七二会870-3	75	12									
	お堂（論地公会堂）	七二会448	75	12									
	滝屋公民館	七二会809	75	12									
信更	小田原公民館	信更町田沢15-1	75	12									
	古藤公民館	信更町古藤2613-3	75	12									
	高野公民館（構造改善センター）	信更町高野1463-2	75	12									
	下平公民館	信更町下平5037-2	75	12									
戸隠	吉原公民館	信更町吉原248-6	75	12									
	坪山ふれあいセンター	戸隠祖山2424-3	75	12									
鬼無里	上楠川文化センター	戸隠上楠川870-3	75	12									
	東京地区コミュニティ消防センター	鬼無里14226-1	75	12									
	峯地区コミュニティ消防センター	鬼無里5898-3	75	12									
	山本地区コミュニティ消防センター	鬼無里1957-1	75	12									
	平区公民館	鬼無里7103-2	75	12									
	田之頭公民館	鬼無里日影8754-2	75	12									
	裾花第一生活改善センター	鬼無里日影1043-7	75	12									
	裾花集会場	鬼無里日影11019-2	75	12									
大岡	中牧地区センター	大岡中牧1172-1	75	12									
	大岡活性化センター	大岡甲7626-1	75	12									
	四ヶ村地区センター	大岡甲6945-2	75	12									
	川口地区センター	大岡甲4466	75	12									
	和平地区センター	大岡乙1628	75	12									
	宮平生活センター	大岡甲7846-3	75	12									
	中部地区センター	大岡乙789-2	75	12									
	根越地区センター	大岡乙5487-2	75	12									
	芦ノ尻地区センター	大岡丙4086	75	12									
	笹久地区センター	大岡丙3339	75	12									
信州 新町	左右公民館	左右18303	75	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	信級公民館	信級1261	75	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	西部公民館	越道6141-1	75	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中条	中条支所	中条2328-2	75	12									
合 計			3,525	564	3	3	3	3	3	3	3	3	3

Ⅲ 災害時相互応援協定等の状況

<災害時応援協定（行政関係）>（令和4年4月1日現在）

協定先		主な内容	協定日
1	長野県企業局	応急活動連携	H29.7.26
2	東京都町田市	災害時相互応援	H7.9.29
3	富山県富山市		H7.12.1
4	新潟県上越市		H7.10.26
5	長野県内市町村		H8.4.1
6	中核市		H13.7.27
7	静岡市・甲府市・上越市		H24.7.20
8	国土交通省関東地方整備局 国土交通省北陸地方整備局		情報交換
9	財務省関東財務局 財務省関東財務局長野財務事務所	災害時支援等	H29.3.15
10	国土交通省関東地方整備局長野国道事務所 長野県長野建設事務所	「道の駅」の防災利用	R2.3.4
11	小川村 葛尾組合 須高行政事務組合 北信保健衛生施設組合	火葬施設の相互応援	R3.4.23

<災害時応援協定（民間関係①）>（令和4年4月1日現在）

協定先		主な内容	協定日
1	（一社）長野市医師会	医療救護活動	H26.11.1
2	（一社）更級医師会		H26.11.1
3	（一社）上水内医師会		H26.11.1
4	（一社）須高医師会		H26.11.1
5	（公社）長野市歯科医師会	歯科医療救護活動	H11.11.25
6	更級歯科医師会		H11.11.25
7	埴科歯科医師会		H11.11.25
8	上水内郡歯科医師会		H11.11.25
9	（一社）長野市薬剤師会	医療救護	H22.4.15
10	更埴薬剤師会		H22.4.15
11	長野市商工業災害対策連絡協議会	必要物資配給等	S59.6.2
12	（一社）長野市建設業協会	応急復旧	S61.6.27
13	長野市電設業協会	出動協力	S62.6.3
14	長野市空衛設備協会	出動協力	S63.12.27

<災害時応援協定（民間関係②）>（令和4年4月13日現在）

	協定先	主な内容	協定日
15	市内郵政関係機関	相互協力	H9.10.8
16	長野市水道工事協同組合	出動協力	H10.10.16
17	（一社）長野市開発公社	食糧の安定配給	H18.9.15
18	長野市生活環境協同組合	し尿収集	毎年締結
19	シーデーシー情報システム株式会社 長野営業所	緊急応援	H19.9.1
20	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	飲料水の供給	H20.1.28
21	サントリービバレッジサービス株式会社		H20.1.28
22	長野市委託浄掃事業共同組合	廃棄物収集運搬	H20.4.1
23	独立行政法人国立病院機構東長野病院	地下水の供給	H20.9.18
	若槻地区住民自治協議会		
	古里地区住民自治協議会		
24	長野県厚生農業協同組合連合会篠ノ井総合病院	H22.6.30	
	篠ノ井地区住民自治協議会		
25	（一社）長野市薬剤師会	水質検査業務	H21.3.27
26	(公社)日本下水道管路管理業協会 中部支部長野県部会	復旧支援	H22.3.25
27	日本建設機械レンタル協会長野支部	資機材リースの協	H24.8.24
28	（一財）中部電気保安協会	電気の保安	H24.8.24
29	（公社）長野青年会議所	協力	H24.12.17
30	長野県石油商業組合	石油類燃料の供給等	H24.12.17
	長野県石油商業組合北信支部		
31	長野県レッカー協会	障害物除去等の協力	H25.2.20
32	（一社）長野県建築士会長野支部	被災建築物応急危険度判定	H25.2.20
33	（一社）長野県建築士会更級支部		H25.2.20
34	（一社）長野県警備業協会	交通及び地域安全の確保等	H25.10.24
35	長野LP協会長野支部	LPガスの供給等	H26.2.6
	（一社）長野県LPガス協会		
36	北信測量設計事業共同組合	緊急的な調査等	H26.11.17
37	中部電力（株）長野営業所	災害時の市有施設等の使用	H27.2.12
38	5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会	畳の提供	H28.3.29
39	社会福祉法人 長野市社会事業協会	福祉避難所の設置及び管理運営	H28.11.9
40	合同会社ひだまり		H29.6.20
41	株式会社ゼンリン新潟・長野統括部長野営業所	地図製品等の供給等	H29.3.15
42	一般社団法人長野県タクシー協会	緊急輸送等	H29.3.15
43	公益社団法人南長野青年会議所	協力	H29.10.10
44	株式会社デリックちくま	食料等の供給及び運搬	H29.10.10
45	公益社団法人長野県バス協会	バス利用	H31.3.14
46	興亜化成株式会社	応急物資の供給及び防災教育の支援	H31.3.14
	HARIO株式会社		

<災害時応援協定（民間関係③）>（令和4年4月13日現在）

協定先		主な内容	協定日
47	エフビー介護サービス㈱	福祉避難所の設置及び管理運営	R1.6.12
48	中部電力（株）長野営業所	相互協力	R2.3.26
49	バイクックコーポレーション㈱	食料等の供給及び運搬	R2.4.17
50	長野三菱自動車販売㈱	電動車両等の支援	R2.6.30
	三菱自動車工業㈱		
51	レンゴー株式会社長野工場	物資の供給	R2.8.26
52	佐川急便㈱信越支社	支援物資の受入及び配送等	R2.9.11
53	NPO法人コメリ災害対策センター	物資供給	R3.3.17
54	長野日産自動車㈱	電気自動車を活用した脱炭素社会の実現と災害対応力強化	R3.3.30
	日産プリンス長野販売㈱		
	日産自動車㈱		
55	ユーグループ	対策支援	R3.9.8
	㈱ユー・リアルエステート		
56	長野県弁護士会	相談業務	R3.10.4
57	長野県行政書士会長野支部	被災者支援	R3.11.5
58	長野県建設業協会	応急対応業務への協力	R4.4.13
59	（株）ながのコミュニティー放送	放送要請	H8.4.26
60	（株）ｲﾝﾌｫﾐｰｼｮﾝ・ﾈｯﾄﾜｰｸ・ｺﾞﾐｬﾆﾃີ		H8.4.26
61	長野市有線放送電話共同施設協会		H8.4.26
62	信越放送（株）		H16.4.21
63	（株）長野放送		H16.4.21
64	（株）テレビ信州		H16.4.21
65	長野朝日放送（株）		H16.4.21
66	裾花ダム管理事務所		ダム放流警報施設の緊急放送
67	ヤフー株式会社	情報発信等	H29.12.12
68	NPO法人 日本防災標識協会	避難誘導標識の設置及び管理	H12.3.7
69	中電興業（株）長野支社	避難場所案内広告付電柱看板	H24.12.25
	NTTタウンページ（株）信越営業本部		